

2010年12月13日

財団法人 日本野球連盟

2010年度社会人野球表彰選手選考経過ならびに結果発表

1. ベストナイン

- ☆投手 濱野 雅慎 (はまの まさみつ) JR九州 26歳 (初)
184cm 85kg 右投・右打 神戸西高一 国士舘大
都市対抗で橋戸賞を受賞、年間防御率1位の東芝藤田投手と都市対抗久慈賞、日本選手権敢闘賞、年間最多勝のJR九州濱野投手に絞られた。両大会で6勝1敗、年間対象大会で101回に登板し、抜群の安定感を評価された濱野投手が受賞した。
- ☆捕手 中野 滋樹 (なかの しげき) JR九州 30歳 (初)
178cm 78kg 右投・右打 柳ヶ浦高-東洋大学-ミキハウス
都市対抗、日本選手権での準優勝に貢献した投手陣を支えたディフェンス面と勝負強い打撃が評価された。
- ☆一塁手 的場 寛一 (まとば かんいち) トヨタ自動車 33歳 (初)
180cm 78kg 右投・右打 弥富高-九州共立大-阪神タイガース
高打率をマークした日本通運・金子、年間を通してコンスタントな打撃で打点ランキング2位のNTT東日本・高尾も候補に挙げられたが、日本選手権で優勝に貢献し、打撃賞も獲得したトヨタ自動車・的場の評価が上回った。
- ☆二塁手 佐藤 二郎 (さとう つぎお) ヤマハ 30歳 (初)
182cm 88kg 右投・右打
ワシントンルイス高 (ブラジル) -ヤクルトスワローズ-シダックス
都市対抗で高打率をマーク、チームのベスト4入りに貢献し、若獅子賞を獲得した住友金属鹿島・小島、年間最多安打や最多盗塁を記録するなど一年を通して好調を維持した三菱重工横浜・坂上が高評価を受けたが、都市対抗、日本選手権両大会とも優秀選手賞を獲得したヤマハ・佐藤が初受賞となった。
- ☆三塁手 坂田 篤彦 (さかた あつひこ) トヨタ自動車 27歳 (初)
172cm 76kg 右投・右打 尽誠学園高-駒澤大
年間を通して高打率をマークし、チームの日本選手権優勝にも貢献したトヨタ自動車・坂田が、日本選手権首位打者賞のJX-ENEOS・宮澤らを抑えた。
- ☆遊撃手 田中 マルシオ 敬三 (たなか まるしお けいぞう)
JR九州 30歳 初
173cm 75kg 右投・右打 柳川高-東京農大
堅実な守備と1番打者としてチームを牽引し、都市対抗、日本選手権両大会準勝に貢献。東芝・安達、日本通運・澤村の成績も評価されたが、JR九州・田中が選出された。
- ☆外野手 北道 貢 (きたみち みつぐ) NTT東日本 29歳 (初)
179cm 75kg 右投・左打 駒大岩見沢高-駒澤大
- ☆外野手 藤島 琢哉 (ふじしま たくや) JR九州 27歳 (初)
177cm 80kg 右投・右打 延岡工高-九州東海大
- ☆外野手 松永 隆太 (まつなが りゅうた) 東芝 24歳 (初)
176cm 80kg 右投・右打 九州学院高-東洋大

都市対抗優秀選手賞、年間最多打点賞を獲得、年間を通して4割を超える打率を記録したNTT東日本・北道をまず選出。続いて、都市対抗、日本選手権で3本塁打を放った勝負強い打撃が評価されたJR九州・藤島を選出。残る1枠は、年間首位打者のJFE東日本・落合、アジア競技大会で勝負強い打撃を印象付けた富士重工業・林、都市対抗若獅子賞の三菱重工横浜・五十嵐らの争いになったが、都市対抗で優勝した東芝のクリーンアップの一角として高打率をマークし、チームの勝利に貢献した東芝・松永が受賞した。

☆指名打者 池辺 啓二 (いけべ けいじ) JX-ENEOS 28歳 (2)

180cm 80kg 左投・左打 智辯和歌山高一慶應義塾大
一年を通してコンスタントな成績を残した日本通運・新垣とJX-ENEOS・池辺の2人に絞られた。都市対抗で優勝した東芝の補強選手として打撃賞を受賞した活躍を評価し、池辺を選出した。

2. 個人表彰選手

(1) 首位打者賞

落合 成紀 (おちあい しげのり) 外野手 JFE 東日本
43打数19安打 4割4分2厘 報徳学園高一東海大
日立大会で6割超、日本選手権でも4割超を記録、出場した対象大会でコンスタントに安打を放った。

(2) 本塁打賞

該当者なし(規定による)

(3) 最多打点賞

北道 貢 (きたみち みつぐ) 外野手 NTT 東日本
17打点
東京スポニチ大会で6打点、長野大会では8打点を記録。トップバッターながら、チャンスに強い打撃が光った。

(4) 最多勝利投手

濱野 雅慎 (はまの まさみつ) 投手 JR 九州
15試合10勝3敗
都市対抗と日本選手権で通算6勝1敗。東京スポニチ大会、四国大会、九州大会に出場し4勝。四国大会では18イニングに登板、自責点も0。抜群の安定感でチームに貢献。

(5) 最優秀防御率

藤田 卓史 (ふじた たかし) 投手 東芝
7試合 49回1/3 失点4自責点4 防御率 0.730
沖学園高一九州共立大
都市対抗では2完封を含む3勝を挙げ、優勝に貢献。橋戸賞を受賞。日立大会、九州大会で併せて20回2/3に登板し、自責点は0。規定投球回数を満たした投手の中で唯一0点台の防御率を記録した。

以上